

令和4年11月前半分青果物使用品名と産地(11/1～11/13)

～生産（地）の状況～

日毎に秋が深まり、朝夕は寒さが増してきた。また、野菜の産地についても秋冬野菜へと移行する中で高冷地から平坦地へと移り変わってきた。葉物野菜では、長野・群馬産も終盤になり、今後は九州産を予定しているが、これまでの干ばつの影響で水分不足は否めず、品質は良くない。

No	品名	産地
1	じゃがいも	北海道産
2	洗いさいも	県内・宮崎・鹿児島産
3	さつまいも	熊本市産
4	人参	北海道産
5	キャベツ	県内・九州産
6	玉ねぎ	北海道産
7	もやし（小）	熊本市産
8	もやし（サリナス）	大分産
9	ピーマン	九州産
10	トマト	県内産
11	ミニトマト	県内産
12	胡瓜	熊本市産
13	ごぼう	鹿児島・青森産
14	青葱	熊本市産
15	小葱	九州産
16	ほうれん草	熊本市産

No	品名	産地
17	チンゲン菜	熊本市産
18	小松菜	熊本市産
19	にら	県内産
20	パセリ	熊本市産
21	いんげん	九州産
22	洗いレンコン	熊本市産
23	白菜	九州産
24	大根	九州産
25	なす	熊本市産
26	ニンニク	青森産
27	生姜	県内産
28	えのきだけ	長崎産
29	本しめじ	福岡産
30	エリンギ	長崎産
31	みかん	熊本市産
32	りんご	長野産

食材の主な産地が、原子力災害対策本部が出した「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」の対象(放射性物質検査対象地域)自治体1都16県のものには、食品中の放射性セシウムスクリーニング法(厚生労働省)に準拠して、本市においても検査を実施しています。

※検査結果は、不検出でした。(測定下限値はセシウム-134、セシウム-137合計で25Bq／Kgです。)

※産地は、天候等の影響で変更になる場合があります。